

平成 24 年 12 月 18 日

地域果樹振興対策会議 御中

広島県果樹振興対策会議

かんきつ類寒害緊急対策について（第2報）

広島地方気象台発表の週間天気予報によると、12月23日（日）から25日（火）にかけて、最低気温が0℃以下になることが予想されています。

この冬は平年に比べ、気温が低くなることが予想され、向こう1週間は平均気温、最低気温ともに平年並か平年より低く、23日以降はかなり低くなる見込みとなっています。

については、生産者に対し、次の事項について指導を徹底してください。

- 1 ネーブル・はるみ・ポンカン・八朔・レモン（規格に達したものは）
採収を早める（特に外成り果）。
採収したものは仕分けて貯蔵する。
- 2 樹上越冬用の果実は凍結防止対策を徹底する。
なお、凍結防止対策には次の方法が有効です。
①寒冷紗等による樹冠の被覆
②果実への袋かけ
- 3 予措・貯蔵中の果実については、冷気の進入を防ぎ、低温に遭わないように管理する。
室温が2℃以下になる時は、毛布の被覆や暖房機等により保温する。
- 4 かん水施設については、機器の破損防止のため、水抜きなどをする。